

T TABLE FOR TWO



フィリピン カステリヤホス 学校給食が育む幸せ ”一緒に食べるとおいしいね”

フィリピン ルソン島西部のカステリヤホスのバライバイ小学校での給食プログラムは9年目を迎えました。2023年は、栄養失調と診断された約120名の生徒に学校給食を提供しています。

フィリピンではパンデミックの影響による休校が2年間と長期にわたり、子どもたちは先生や友だちと一緒に過ごし、学ぶ機会を失ってしまいました。学校再開によって、友だちと食を共にする時間が戻ってきました。おかわりをする子どもたちの姿もみられ、給食の時間は楽しくにぎやかな声が聞こえてきます。



午前中の授業が終わると、友だちと一緒に給食室へやってくる子どもたち。配膳されたテーブルにつくと、友だち同士、会話を楽しみながら給食を食べます。ランチ後は食べ終えた子から、元気に校庭遊びに飛び出していきます。

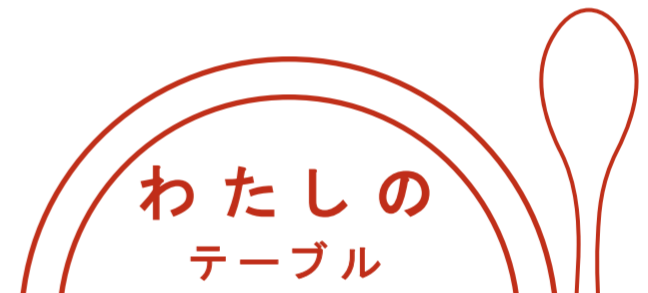


給食支援を受けている子どもの保護者たちが、5人1チームになり、当番制で給食を作っています。宗教やアレルギーへの配慮食にも対応しています。献立の考案は、給食支援の担当教師の役割ですが、保護者の料理コンテストのメニューが、給食として提供されることもあります。

フィリピン カステリヤホス  日本 愛知 栃木

世界を繋ぐ ひとつの テーブル

わたしの一食が、
あの子の一食になる。



株式会社アイシンでは、2月の健康増進月間に健康推進室と連携し「TFT×食育合同企画」を実施しました。社員の健康増進やメタボ予防を目的に、1日に必要な野菜の1/3がとれるメニュー等を提供しTFTに寄付しました。社員からは好評で、通常よりも提供数が増えました。



株式会社ホンダテクノフォートでは、従業員WEBサイトでの事前申込みによる給与天引きで、TFTプログラムを実施しています。「今日だけ参加(単発型)」と「今月からずっと参加(サブスク型)」が選べますが、参加者の9割以上がサブスク型で継続参加。多様な働き方や職場環境問わず気軽に取り組めると好評です。



TABLE FOR TWO は開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動です。